

映画「わたしのかあさん-天使の詩-」上映会

松山で上映会があります！

92歳、日本最高齢の女性映画監督、山田火砂子が児童福祉文化賞受賞の児童文学『わたしの母さん』(菊地澄子作)を豪華キャストにて映画化！



<内容>

障がい者特別支援施設の園長である山川高子はある日、母親の清子のことを本にしなないと声をかけられる。今でこそ福祉に従事する高子だが、かつては障がい者を疎ましく思い、憎んですらいったこともあった。実は高子は両親が知的障がい者で、そのことを恥じていた時期があったからだ。小学3年生の頃、子どものように騒がしくおどける母の清子を同級生に見られるのが嫌で、高子は授業参観のお知らせを隠していた。しかし、お知らせを見つけた清子は授業参観に来てしまい、高子は同級生に笑われてしまう。その後、両親が知的障がい者であることを知らされた高子は激しく動揺するが、そんな彼女の心を癒やしたのは、ほかでもない母・清子の娘を愛する気持ちだった。

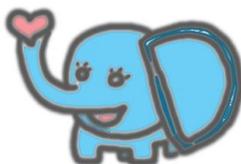
場所	上映日	上映開始	備考
松山市北条市民会館 大ホール	10/31(金)	10:30	14:00~『一粒の麦』上映
愛媛県総合社会福祉会館 多目的ホール	11/1(土)	10:30 14:00	
松山市総合コミュニティセンター大会議室	11/3(月・祝)	10:30	14:00~『大地の詩』上映

「一生に一度しかないんだから、絶対に行きたい!!」と言いきる長男と共に、この夏、大阪・関西万博に行きました。万博会場で見ると、万博の次男が神戸から来てくれて、現地でも合流しました。長男はいつもと違う場所へ行く、テウシオンが上がる、訳が分からなくなる、訳が上手な次男がいてくれたおかげで、楽しく過ごすことができました。それこそ一連、行きたかったのに連れて行って、くれないか」と長男に言われかねないので、行ってよかったです。万博ももうすぐ終わりますね。楽しい夏の思い出になります。

ダンボクラブでは、発達障がいについて広く理解していただくための啓発活動を行っています。ご賛同いただける方の温かいご支援を募集しています。ボランティア活動にご興味のある方、ご寄付いただけます方は、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ: damboclub@gmail.com
お振込口座: 伊予銀行 小栗支店 普通 1321818

ダンボクラブHP → <https://www.dunboclub.com/>



ダンボ通信

☆第191号☆
発行日: 2025年8・9月

****ダンボクラブについて****

発達障がいがどのようなものか知っていますか？
私たちは、そんな子どもたちを育てています。
この広報は、ダンボクラブがどんな活動をしているのか知っていただくために作りました。

☆☆☆活動報告☆☆☆

★保護者会 7/26(土)★

臨床発達心理士、特別支援教育士で教諭の新開多恵先生を困んで、勉強会を行いました。

★成人当事者会「ワンピース」

7/20(日)・8/17(日)★
毎月、様々な活動に取り組んでいます。
→詳細は次ページ

★なかぼつの関係機関等との連絡会議 7/18(金)★

テーマ: 就労選択支援の概要と取り組みについて

※就労選択支援とは、2025年10月から開始される障害福祉サービスで、障がい者が本人の能力や適性にあった仕事につなげるため、就労アセスメントを通して支援するものです。就労選択支援の事業所運営と利用者側の2点についての説明がありました。

<支援の具体的内容>

- ①必要な情報提供 ②作業場面等を活用した状況把握(アセスメント)
 - ③他機関連携によるケース会議の開催 ④アセスメント結果の作成
- 実施期間は、原則1ヶ月。 ※特別支援学校の生徒は、職場実習を含めての1ヶ月を出席停止・忌引きなどの扱いにすることが可能。

第62回愛媛県精神保健福祉大会「心のふれあい講座」

- ① 式典
- ② 基調講演「発達障害の子とハッピーに暮らすヒント」
講師: 堀内祐子(自閉症スペクトラム支援士・ゆるみ☆子育て代表)
- ③ 質疑・体験発表 発表者: 堀内氏の長男
- ④ 心の美術展

開催日時 2025年11月8日(土) 13:00 ~ 15:00
開催場所 松山市立子規記念博物館(愛媛県松山市道後公園 1-30)
料金 無料
主催者 愛媛県、松山市、愛媛県精神保健福祉協会、(社)愛媛県社会福祉協議会



☆☆☆活動紹介☆☆☆

毎月活動報告をしています。ダンボクラブには、18歳以上の成人当事者会『ワンピース』があります。当事者同士による活動が中心ですが、支援者(アドバイザー)も参加する形式としており、活動には、構成的グループエンカウンターを取り入れています。

※構成的グループエンカウンター:与えられる課題にグループで取り組み、その時に感じたことをグループで話し合うことにより、自己や他者の感情や考えを受容できるようになることを目的としたカウンセリング手法

今回は、7・8月の活動について詳しく紹介します。

7月のワンピース

日時	7/20(日) 13:30~15:30
場所	愛媛県美術館
内容	SST~対話型鑑賞~ テーマ【アートを通じ自分らしさを表現しよう】
参加者	12名(うちスタッフ1名)、講師1名、 美術館作品ガイドボランティアの方2名



今回で、2回目の美術館での対話型鑑賞でした。1階ロビーで集合。オリエンテーション後、1階常設展示室へ移動し、ガイドボランティアさんに案内され、作品展示場所に向かいました。(ワンピースメンバー以外にも多数参加されていました。)

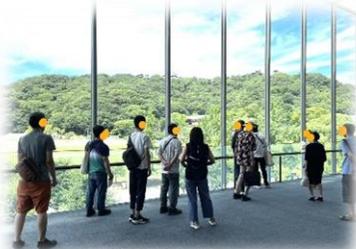


最初に、絵をよく観察(鑑賞)したあと、この作品についてどう思ったかを感じるままに次々と手を挙げて発言していました。

鑑賞したのは、

- ①友澤健太郎さん作品 「ひとは山、山はひと」
- ②畦地梅太郎さん作品 「めぐり逢い」

みなさんの感じたことを聞くにつれ、絵の見方がどんどん広がっていく感覚になりました。最後に、展望ロビーで感想をシェアしました。前回と同じく、1人で鑑賞する場合と、多くの人と対話しながら鑑賞する場合と、イメージの広がり方の違いをみんなで見ました。



更に今回は、一部有志によるプラスアルファの活動もありました。愛媛県美術館が実施している「言葉をつなげて俳句を作ろう!」という俳句の創作ワークです。季語にこだわることなく、美術館の作品を深く鑑賞することで心に感じた想いを表現するものです。

以下、素晴らしい作品の数々をご紹介します。

- ◎白い木や 静かに並ぶ 夏の朝 N.O
- ◎黄金よ ざらざら光る 星祭 T.M
- ◎待人は そろそろ歩く 星月夜 K.T
- ◎山男 思わぬところで めぐり逢い T.A
- ◎夏草や 胸像はかの人を待つ H.K



8月のワンピース

日時	8/17(日) 13:30~15:30
場所	松山市総合福祉センター 中会議室
内容	座談会(自己紹介、近況報告など) 分科会
参加者	11名(うちスタッフ3名)

前半は最初に声のウォーミングアップをした後、自己紹介と近況報告をしました。後半は、2グループに分かれて、気になることについて話し合いをしました。

<後半の分科会の内容>

Aグループ	Bグループ
<ul style="list-style-type: none"> ○マイナカード・免許証の一体化について 利便性が上がるが、セキュリティの危険性も ○増えていくキャッシュレス・セルフレジについて ○1人暮らしの自炊 手軽なお惣菜「揚げ物」などにかたよる。 ○自転車について(交通ルール) ○相続について トラブルや遺言書など 	<ul style="list-style-type: none"> ○家の管理 親の高齢化もあり、庭の手入れなど問題が増える ○介護やその後 親の認知機能が低下に伴う不安。 →対策：断捨離、自分自身のヘルパー利用など..

